

令和元年度第3回『親の力』をまなびあう学習プログラム」ファシリテーターステップアップ研修 受講者「振り返りアンケート」集計結果

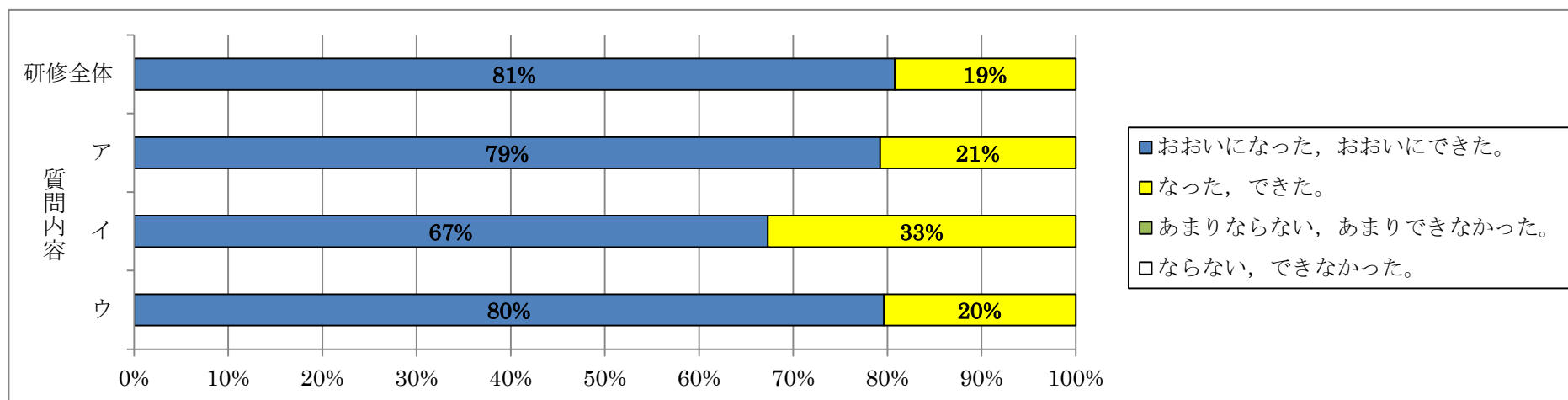
〈質問内容〉

研修全体：「今回の研修で学んだことは明日からの活動に役立つものになりましたか」

ア：「講義・演習の内容は理解できましたか」

イ：「講義・演習を通して、これまでの活動を振り返ることができましたか」

ウ：「講義・演習を通して、ファシリテーターとしての技術向上のためのアイデアを得ることができましたか」



〈「今回の研修を通しての感想・意見」などの記述から〉

- ファシリテーターが「待つ」ことの大切さや、なにより、参加者を「信じる」ことを大切にしたいと思いました。
- 参加者の発言を促す言葉かけの大切さを学び、自分の中に言葉をためて活用していきたいと思います。
- ファシリテーターは評価者ではないということを忘れずに、待つことも必要だとわかりました。
- 親プロを進めていくときに対象者に応じていつ何を説明するか進め方を変えてみようと思いました。
- 何故自分がファシリテーターをしているのか「思い」をしっかりと考え、これからも続けていきたいと思います。
- ファシリテーターはよく助産師に例えらるとの講師の話から、助産師自身が出産しないよう「親プロ」だけではなく色々な会議の場でも目的や目標を確認しながら、進行しようと思います。
- 今まで不安に思っていたことにヒントを得ることができました。気負わなくても参加者の陰役としてファシリテーターを努めることを改めて確認できました。